

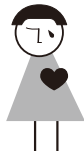
事業案内



2017(平成29)年度事業報告

2018(平成30)年度事業計画

まつし道はあると思うから



社会福祉法人
仙台いのちの電話

目 次

巻頭言「地道な活動を継続することの大切さ」	1
2017（平成 29）年度事業報告	
1. 相談活動	2
2. 法人開催の会議等	7
3. 相談員の養成と研修	7
4. 研修担当者の研修	9
5. 自死遺族支援事業「すみれの会」	10
6. 石巻分室	10
7. 広報活動	10
8. 後援会活動への協力	11
9. 自殺予防厚生労働省補助事業への協力	11
10. 他機関との連携	11
11. その他 委員会活動	12
12. 相談員の会	12
13. 財務報告	13
2018（平成 30）年度事業計画	17
後援会（活動を支えてくださった後援会会員）	20
後援会主催事業	26
役員・委員・後援会役員名簿	27
組織	28
仙台いのちの電話では・・・相談員募集	29
すみれの会	30
活動スナップ	31
ご協力のお願い・寄附金控除のご案内	32

地道な活動を継続することの大切さ

理事長 飯岡 智

仙台いのちの電話は、多くの方のご支援により1982年11月に設立されて、37年を迎えました。研修を受けた相談員の方々の地道な活動を通して、これまでに延べ63万件余りの電話相談に対応することができました。こうして、29年度の事業報告並びに30年度の事業計画をお示しすることが出来ますことに心から御礼申し上げます。

仙台いのちの電話の活動は設立以来、認定を受けた相談員776名に支えられ、現在195名の相談員の方々が電話対応にあたっております。「いのち」を大切にするという人としての原点に関わり、少しでも自死される方が減ってほしいとの願いから継続してきた活動は、お陰様で各方面より高く評価いただいております。

今後、世代交代をしながら事業を継続していく上で、相談員数の確保、研修指導体制の充実などが求められております。

同時に、365日24時間の相談体制の維持をしていくためにシステムも検討しながら対応をしまいたいと思います。

これまで積み上げた実績を踏まえて、インターネットによる相談や石巻分室の充実など社会情勢に基づいた新たな取り組みも始めております。これからも、一本の電話を通して「きっと道はある」と感じていただけるよう、いのちの電話としての役割を果たしていくことに全力で取り組んでいきたいと思っております。

いのちの電話は、多くの方の支えの上に成り立っています。いのちの電話を支えて下さる皆様に、今後ともより一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2017（平成29）年度事業報告

1. 相談活動（2017/1～12）

(1) 電話相談

①相談体制

- ・相談日/相談時間 365日 1日24時間（1日8交代）
- ・相談電話台数 3台
- ・相談員数 195名（2018/4/1現在）

②電話相談の概要

・全体

相談電話件数 19,908件（男10,620 女9,288）前年比381件増
（内、自殺傾向のある相談 2,218件（男971 女性1,247）前年比159件増
受信件数の11%）

※全国いのちの電話受信件数 652,906件（男328,972 女323,934）
（内、自殺傾向のある受信件数 72,929件（男32,651 女40,278）

・その他相談

a. 「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤル（毎月10日8時～翌朝8時）
790件（男447 女343）

※全国いのちの電話受信件数 30,289件（男性16,587、女性13,702）

b. ヤングテレホン相談（仙台市より、閉庁時転送受信の業務受託）
46件（男25 女21）

c. 登米いのちホッとテレホン相談（登米市より転送受信の業務受託）
24件（男6、女18）

※a～cの相談件数は受信件数19,908件に含まれる。

◎1982年（開局）～2017年

電話相談件数 634,092件（内、自殺傾向のある相談38,516件）

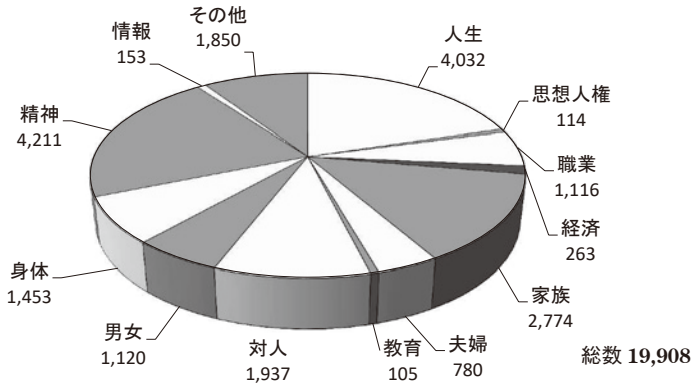
(2) インターネット相談

①相談体制 毎月7～8回 ネット相談員数16名（2018/4/1現在）

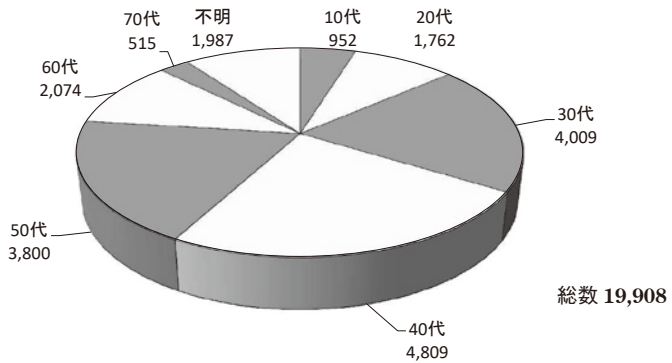
②相談の概要（2017/1～12）

- ・相談件数 377件（男性127 女性250）前年比121件減
- ・自殺傾向 自殺志向192件（男性73 女性119）受信件数の51%

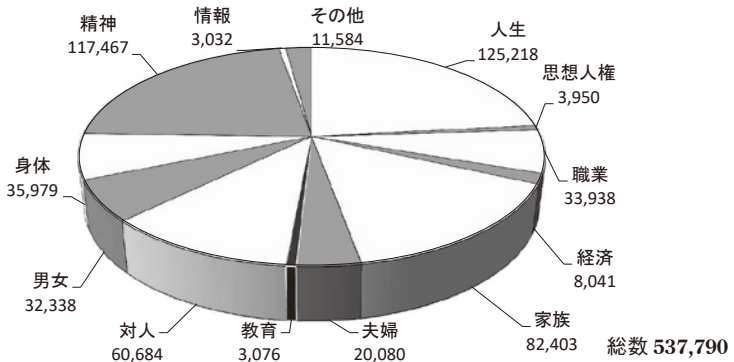
電話相談 内容別



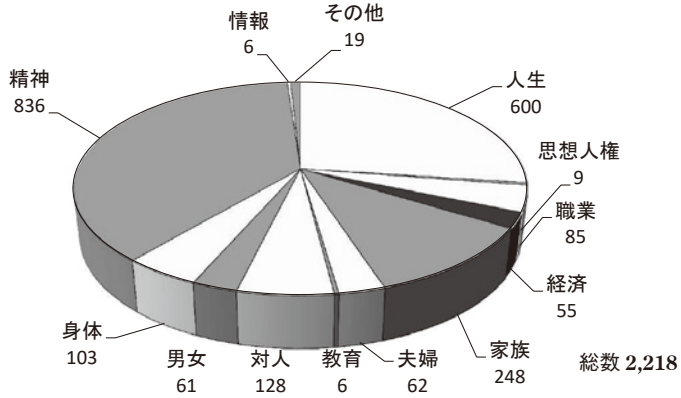
電話相談 年代別



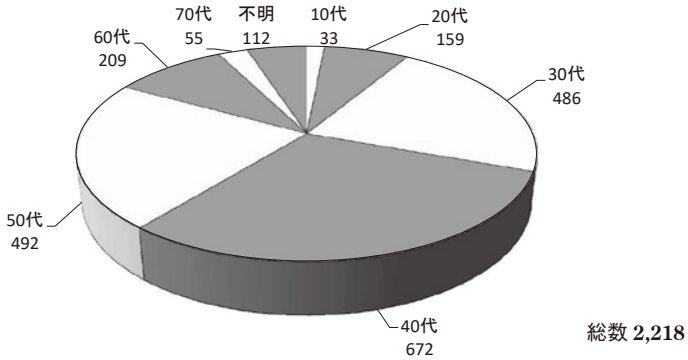
電話相談 内容と受信時間



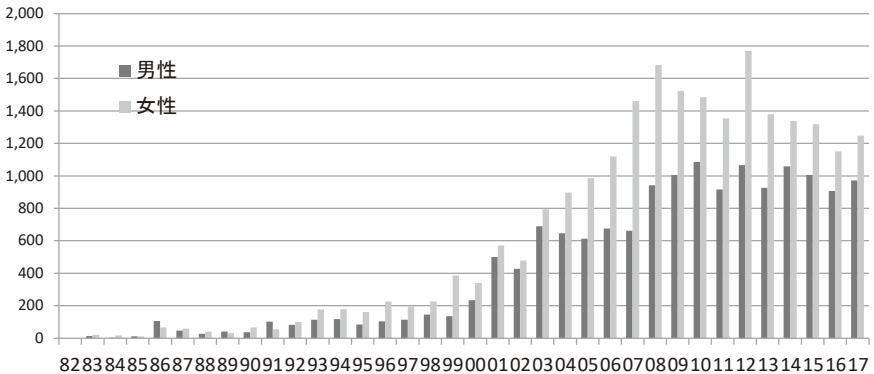
電話相談 自殺傾向と内容別



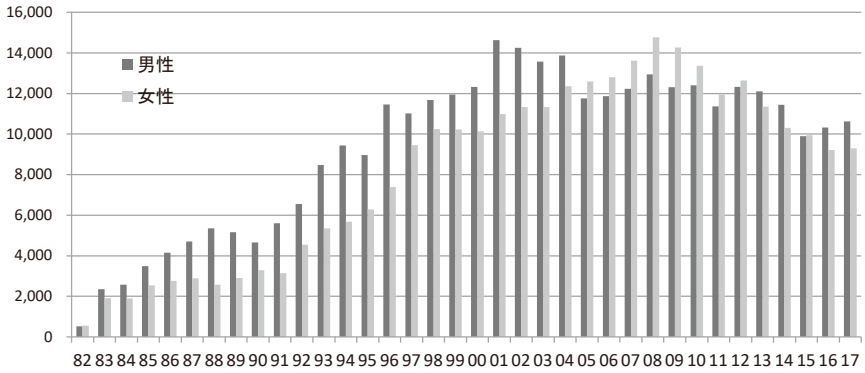
電話相談 自殺傾向と年代別



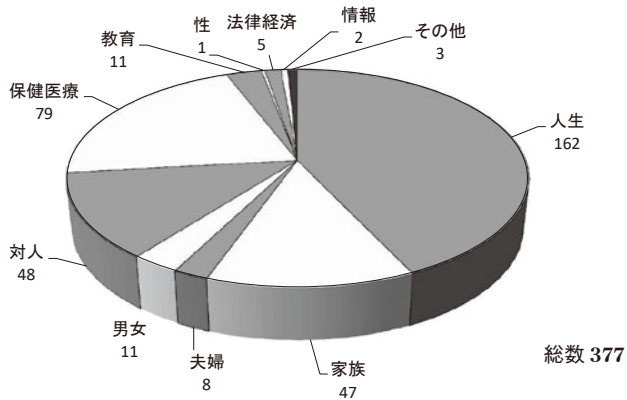
電話相談 自殺志向のある件数推移 (1982年～2017年)



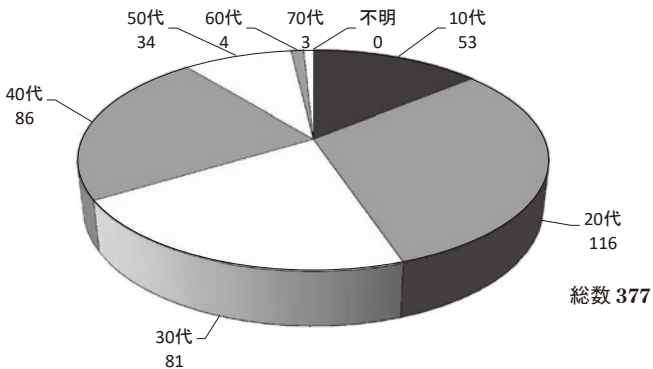
電話相談 件数推移 (1982年～2017年)



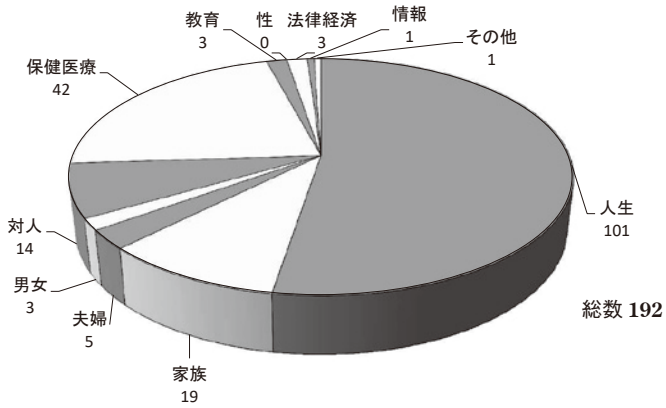
ネット相談 内容別



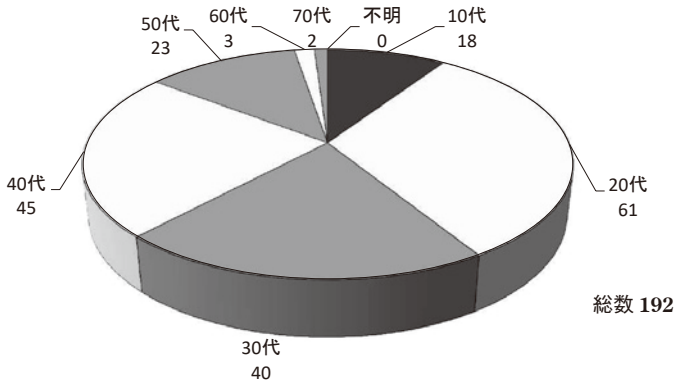
ネット相談 年代別



ネット相談 自殺傾向あり内容別



ネット相談 自殺傾向あり年代別



2. 法人開催の会議等

①理事会、評議員会

日 程	理事会（121回～123回）	評議員会（93回～94回）
2017/5/22（月）	2016年度事業報告・決算・監査報告	
2017/6/12（月）	理事長及び常務執行理事の選任	2016年度事業報告・決算・監査報告
2018/3/13（火）	2017年度補正予算、2018年度事業計画・予算他	
2018/3/22（木）		定款の一部変更について

②常務会・運営委員会 毎月1回

③「仙台いのちの電話」のつどい（60名参加）

2017/6/4（日）11:00～14:00 会場：斎苑

内容：出村和子先生記念講演 宮腰孝先生講話 相談員10年・20年・30年
継続者への感謝状贈呈他

3. 相談員の養成と研修

(1) 相談員の養成

①電話相談員の養成

養成講座開催 42期19名（2015/10～2017/3）

43期11名（2016/4～2017/9）

44期10名（2017/4～2018/9）

☆相談員養成講座内容（*44期養成）

・グループ演習〈2017/4～2017/7 毎週1回2時間及び宿泊研修〉

グループの中で展開される体験を通じて、自己理解・他者理解を深める人間関係基礎訓練を行う。

・講義〈2017/9～2018/6 全13回及び実習についての事前研修1回 ともに1回90分〉

グループ演習で養われた感性を電話相談に役立てるため、必要な知識と相談活動の視点を学ぶ。

・グループ研修〈2017/8～2018/8 毎月1回〉 グループでの話し合いなど。

・電話相談実習・スーパービジョン等（2017/12～2018/7）

②ボランティアリーダーの養成

電話相談員活動5年以上経験者から養成

養成講座開催 7期5名〈2016/11～2017/12 計92時間〉

☆ボランティアリーダー養成講座内容（＊7期養成）

- ・日本電話相談学会SV研修セミナー参加〈2016/11/13～12/17 25時間〉
- ・感受性訓練〈17時間〉
- ・個人SVロールプレイング実習〈6時間〉
- ・継続グループ研修〈12時間〉
- ・グループ研修〈32時間〉

(2) 相談員の継続研修

- ①グループ研修：18グループのいずれかに所属し、研修する。年間約10回（1回2時間）
- ②グループスーパービジョンまたは個人スーパービジョンを受ける（年1回）
- ③一泊研修会他

日程	研修名	講師	参加数
2017/ 5/13 (土) ～ 14 (日)	2017年度いのちの電話インターネット相談 仙台エリア 相談員養成研修 会場：仙台ショーケー本館	①國分振（仙台専門委員） ②千葉健（仙台専門委員） ③西川一臣 （日本いのちの電話連盟） ④横田和子 （日本いのちの電話連盟） ⑤坂井あずみ （日本いのちの電話連盟）	26
1) 2017/ 8/24 (木) 2) 2017/ 8/25 (金) 3) 2017/10/ 1 (日) 4) 2017/11/10 (金) 5) 2018/ 2/10 (土) 6) 2018/ 2/11 (日) 7) 2018/ 3/ 4 (日) 8) 2018/ 3/ 6 (火)	2017年度いのちの電話インターネット相談研修OJT 会場：仙台いのちの電話	1) 西川一臣 （日本いのちの電話連盟） 2) 西川一臣 （日本いのちの電話連盟） 3) 横田和子 （日本いのちの電話連盟） 4) 西川一臣 （日本いのちの電話連盟） 5) 西川一臣 （日本いのちの電話連盟） 6) 西川一臣 （日本いのちの電話連盟） 7) 横田和子 （日本いのちの電話連盟） 8) 谷田征子 （日本いのちの電話連盟）	5 5 11 5 3 2 2 4

2017/5/19 (金)	特別研修会 テーマ:「寄り添えない私 パート3」	有田モト子 (城西国際大学講師・ 臨床心理士)	23
2017/7/22 (土) ～ 23 (日)	一泊研修会 テーマ:「寄り添うこと」 — 相談員のための自己覚知 — 会場: 茂庭荘	布柴靖枝 (文教大学人間科学部教授)	104
2017/10/14 (土)	リフレッシュ研修 対象: 相談員3・7年目	松本幸子・梁川優子 (仙台専門委員)	18
2017/11/26 (日)	自殺予防いのちの電話特別研修 テーマ: 自殺未遂と危機介入	福山清蔵 (立教大学名誉教授)	42
1) 2018/ 2/23 (金) 2) 2018/ 2/25 (日)	一日研修会 テーマ:「聴く」パート2 ～☎「今」を受容する～ 会場: ①東京エレクトロン ホール宮城 ②仙台エルエルセンター	齋藤真 (仙台専門委員)	1) 83 2) 59
毎月第2水曜	フリー学習 テーマ:「フランクルを学ぶ」	佐藤文子・國分振 (仙台専門委員)	18 *登録制
毎月第4水曜	フリー学習 テーマ: 世代間連鎖を考える	大和田誠子 (仙台専門委員)	13 *登録制

4. 研修担当者の研修

2018/ 1/13 (土) ～ 14 (日)	ファシリテータ養成研修 会場: 茂庭荘	今井嘉江 (元横浜いのちの電話研修委員長)	9
2018/ 2/23 (金)	インテーク研修	大和田誠子 (仙台専門委員)	9
2018/ 3/24 (土) ～ 25 (日)	「耳を開くということ心を開く ということ」	末松渉 (臨床心理士・東京いのちの電話研修委員長)	19

5. 自死遺族支援事業「すみれの会」

①わかちあいの集い 毎月2回開催

開催日：第1土曜日・第3水曜日 13:00～15:00

会場：仙台市市民活動サポートセンター 参加者：のべ37名（2017/1～12）

②宮城県自死遺族支援団体連絡会シンポジウム

2017/9/17 会場：仙台市福祉プラザ第一研修室

講師：杉山春氏（ルポライター） テーマ：「自死は向き合える」

③ファシリテータ養成講座

第一課程：2017/12～2018/6 第二課程：2018/7～2019/2

受講者：第一課程のみ5名 第一・二課程両方2名

④仙台市補助事業公開講演会

2018/1/28 会場：仙台市シルバーセンター

講師：若林一美（立教女学院短期大学学長）

テーマ：「悲しみの淵から」～悲しみはやさしさ～ 参加者：83

⑤仙台市市民活動サポートセンター「マチノワブース」参加

2018/2/24 会場：仙台市市民活動サポートセンター

6. 石巻分室

- ・電話相談受信件数（2017/1～12）1,224件。スーパービジョン、ミーティング等実施
- ・仙台いのちの電話公開講座 in 石巻
2017/12/3 講師：國分振 「希望の心理 ― ロゴセラピーの視点から」

7. 広報活動

①広報紙発行

No.99（7月発行）「こころの医療の現場を振り返って（千葉健）」、「支え合いともに歩みながら（出村和子・林義子対談）」、すみれ便り、想い、公開講演会のお知らせ、チャリティイベントのお知らせ

No.100（12月発行）「ボランティアによるいのちの電話の相談（國分振）」、「35周年の節目を振り返る（千葉健）」、「開かれた耳と心を持つこと～35年の時を超えても変わることのない思い～」、想い、すみれ便り、第45期相談員養成講座受講生募集、いのちの電話を支える～それぞれの組織の視点からこれまでの活動を振り返って～、支えになりたい（ボランティアリーダー会）、よりよい相談をめざして（調査研究会）、研修の充実を

目指して（研修企画会）、すみれの会の役割、チャリティイベントのお知らせ、「仙台いのちの電話」設立準備会にむけて（No.1）

②公開講演会の開催

- ・「人生で大切なことはすべて絵本から教わった」 参加者：259名
2017/6/23（金） 講師：末盛千枝子氏 会場：仙台市シルバーセンター

③事業案内発行、ホームページの充実、講師派遣（講演会等で他団体へ）

8. 後援会活動への協力

- ・後援会員の新規開拓
- ・チャリティバザー開催「いのでんマルシェ」 2017/10/7（土） 藤崎前
- ・チャリティイベント開催 2018/2/12（月・祝） 電力ホール
出演：高嶋ちさ子 「12人のヴァイオリニスト」 入場者：960名

9. 自殺予防厚生労働省補助事業への協力

- ・「自殺予防いのちの電話（フリーダイヤル）」実施 毎月10日8時～翌朝8時24時間
「自殺予防いのちの電話」は通常相談とは別に、全国いのちの電話が協力し一斉に特設電話により、24時間体制で受信する。
- ・「福島寄り添いフリーダイヤル」実施（2017/12月～2018/5月）11日午前10時～午後10時
- ・ポスター・カードの配布

10. 他機関との連携

いのちの電話の本来の活動と並行して、他の相談機関との連携をはかる。

- 宮城県自殺対策推進会議・仙台市自殺対策連絡協議会・宮城県自死遺族支援連絡会（5団体）他連絡会参加
- 「仙台市ヤングテレホン相談」業務受託（仙台市閉庁時間）
- 「登米いのちホッとテレホン相談」業務受託
- 「無料法律相談とこころの健康相談会」仙台市業務受託（毎月1回）
自殺予防を目的に弁護士・カウンセラー・臨床心理士等による個別面談
相談件数：法律相談113件・こころの相談43件（2017/4～2018/2）
- 「24時間いじめ相談専用電話」業務委託（仙台市教育委員会閉庁時間）
233件（2017/4～2018/3/31）（仙台市教育相談課受信を含む）
*内、いのちの電話相談件数173件

11. その他 委員会活動

(1) 研修関係

①研修委員会

定例開催（月1回）、相談員の研修に関する検討と実施

研修委員会構成：専門委員会3名・ボランティアリーダー会2名・研修企画会2名・調査研究会2名・事務局長

②専門委員会他

a. 専門委員会

定例会（月1回）、相談員継続研修（グループ研修・スーパービジョン）、相談員ケア、相談員養成認定、ボランティアリーダー養成、インターネット相談員研修等を担当

b. ボランティアリーダー会

定例会（月1回）、相談員継続研修（グループ研修・スーパービジョン）、相談員ケア、相談員養成

c. 研修企画会

定例会（月1回）と研修会開催時に向け随時開催（構成：相談員7名、事務局1名）、相談員一泊研修会、一日研修会の企画運営

d. 調査研究会

定例会（月1回）、（構成：相談員9名、専門委員1名）、相談の内容・傾向・その対応について随時検討と毎月定例部会を開催

③養成研修部会（特別委員会）

新相談員・ボランティアリーダー養成について検討

構成：専門委員会3名、ボランティアリーダー会3名、事務局長

(2) 広報委員会

構成：相談員5名、専門委員1名、事務局1名

広報紙作成のための取材と編集・配布

広報紙 No. 99号・100号発行

12. 相談員の会

相談員の会総会 2017/5/27（土）

相談員グループ代表者会 毎月1回開催

相談員に関する環境・継続グループの充実、法人及び後援会行事への協力と参加 他

13. 財務報告

2017（平成 29）年度資金収支計算書

（自）平成 29 年 4 月 1 日 （至）平成 30 年 3 月 31 日
（単位：円）

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	相談事業収入	21,700,000	21,894,703	△ 194,703
	経常経費寄付金収入	11,493,000	11,124,331	368,669
	受取利息配当金収入	2,000	2,586	△ 586
	その他の収入	2,333,000	2,456,409	△ 123,409
	事業活動収入計 (1)	35,528,000	35,478,029	49,971
	支出			
人件費支出	11,862,000	11,690,279	171,721	
事務費支出	24,134,000	24,575,967	△ 441,967	
事業活動支出計 (2)	35,996,000	36,266,246	△ 270,246	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		△ 468,000	△ 788,217	320,217
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0
その他の活動による収支	支出			
	その他の活動支出計 (8)	0	0	0
予備費支出 (10)		0		0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 468,000	△ 788,217	320,217
前期末支払資金残高 (12)		1,172,000	6,382,965	△ 5,210,965
当期末支払資金残高 (11) + (12)		704,000	5,594,748	△ 4,890,748

- * 補助金 宮城県地域自殺対策強化事業 1,911,783 円
(新電話相談員養成、人材養成、普及啓発、電話相談事業)
- * 補助金 仙台市（新電話相談員養成・自死遺族支援） 650,000 円
- * 配分金 宮城県共同募金会（相談員研修事業） 1,000,000 円
- * 委託金 仙台市 24 時間いじめ相談専用電話業務（仙台市教育局閉庁時間）13,396,000 円
- * 委託金 仙台市個別面談業務（こころ・法律） 2,536,920 円
- * 委託金 仙台市ヤングテレホン業務（仙台市閉庁時間） 2,000,000 円
- * 委託金 登米いのちホッとテレホン業務 1,400,000 円

2017（平成 29）年度事業活動計算書

（自）平成 29 年 4 月 1 日 （至）平成 30 年 3 月 31 日
（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減	
サービス活動増減の部	収 益	相 談 事 業 収 益	21,894,703	21,778,480	116,223
		経 常 経 費 寄 付 金 収 益	11,124,331	13,038,249	△ 1,913,918
		サ ー ビ ス 活 動 収 益 計 (1)	33,019,034	34,816,729	△ 1,797,695
	費 用	人 件 費	11,690,279	10,530,890	1,159,389
		事 務 費	24,575,967	24,747,064	△ 171,097
		減 価 償 却 費	2,170,245	2,161,470	8,775
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,071,562	△ 1,071,562	0
	サ ー ビ ス 活 動 費 用 計 (2)	37,364,929	36,367,862	997,067	
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 4,345,895	△ 1,551,133	△ 2,794,762	
サービス活動外増減の部	収 益	受 取 利 息 配 当 金 収 益	2,586	19,562	△ 16,976
		その他のサービス活動外収益	2,456,409	6,057,992	△ 3,601,583
		サ ー ビ ス 活 動 外 収 益 計 (4)	2,458,995	6,077,554	△ 3,618,559
	費 用	サ ー ビ ス 活 動 外 費 用 計 (5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	2,458,995	6,077,554	△ 3,618,559	
経 常 増 減 差 額 (7) = (3) + (6)		△ 1,886,900	4,526,421	△ 6,413,321	
特別増減の部	収 益	特 別 収 益 計 (8)	0	0	0
	費 用	固 定 資 産 売 却 損 ・ 処 分 損	150,000	0	150,000
		特 別 費 用 計 (9)	150,000	0	150,000
		特 別 増 減 差 額 (10) = (8) - (9)	△ 150,000	0	△ 150,000
当 期 活 動 増 減 差 額 (11) = (7) + (10)		△ 2,036,900	4,526,421	△ 6,563,321	
繰越活動増減差額の部		前 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 (12)	5,655,705	1,129,284	4,526,421
		当 期 末 繰 越 活 動 増 減 差 額 (13) = (11) + (12)	3,618,805	5,655,705	△ 2,036,900
		基 本 金 取 崩 額 (14)	0	0	0
		そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額 (15)	0	0	0
		そ の 他 の 積 立 金 積 立 額 (16)	0	0	0
	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	3,618,805	5,655,705	△ 2,036,900	

貸借対照表

(自) 平成 29 年 4 月 1 日 (至) 平成 30 年 3 月 31 日
(単位: 円)

資 産 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	6,309,924	6,382,965	△ 73,041
現金預金	849,141	1,023,654	△ 174,513
事業未収金	3,549,000	3,210,750	338,250
未収補助金	1,911,783	2,148,560	△ 236,777
立替金	0	1	△ 1
固定資産	82,357,842	84,678,087	△ 2,320,245
基本財産	78,533,493	79,735,896	△ 1,202,403
建物	49,183,493	50,385,896	△ 1,202,403
定期預金	29,350,000	29,350,000	0
その他の固定資産	3,824,349	4,942,191	△ 1,117,842
構築物	51,667	60,667	△ 9,000
器具及び備品	2,962,620	3,864,931	△ 902,311
権利	442,062	456,593	△ 14,531
ソフトウェア	368,000	560,000	△ 192,000
資産の部合計	88,667,766	91,061,052	△ 2,393,286
負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	715,176	0	715,176
その他の未払金	524,100	0	524,100
預り金	191,076	0	191,076
固定負債	0	0	0
負債の部合計	715,176	0	715,176
純 資 産 の 部			
基本金	50,174,349	50,174,349	0
国庫補助金等特別積立金	34,159,436	35,230,998	△ 1,071,562
その他の積立金	0	0	0
次期繰越活動増減差額	3,618,805	5,655,705	△ 2,036,900
(うち当期活動増減差額)	△ 2,036,900	4,526,421	△ 6,563,321
純資産の部合計	87,952,590	91,061,052	△ 3,108,462
負債及び純資産の部合計	88,667,766	91,061,052	△ 2,393,286


監事監査報告書

平成 30 年 4 月 26 日

社会福祉法人 仙台いのちの電話

理事長 飯岡 智 殿

監事 今野 隆三 

監事 高橋 雄一郎 

私たち監事は、社会福祉法人仙台いのちの電話の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査をいたしました。

この監査にあたって、私たち監事は、関連する法令および通知に従い、必要と認めた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果、私たち監事の意見は次のとおりです。

- (1) 事業報告書は、関連する法令および通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます
- (2) 財産目録は、関連する法令および通知に従い、当会の財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (3) 貸借対照表は、関連する法令および通知に従い、当会の資産と負債の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (4) 資金収支計算書は、関連する法令および通知に従い、当会の収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (5) 事業活動収支計算書は、関連する法令および通知に従い、当会の事業活動に係る収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (6) 理事の業務執行の状況は適正であると認めます。

以上

2018（平成30）年度事業計画

1. 相談受信形態の充実

・相談員の養成と研修

a. 相談員の養成

45期電話相談員養成講座の開講

インターネット相談員養成・継続研修への参加（連盟新システム）

b. 相談員の継続研修

資質の向上をはかるため、認定後も継続して研修を行う。

・全相談員必修：一泊研修、一日研修、年1回のスーパービジョン、毎月1回のグループ研修

・フリー学習（毎月1回）テーマ「フランクルから学ぶ」

・特別研修の実施（ワークショップ等）

・各種研修会（全国研修会等）に参加

・ネット相談継続研修・各種研修会に参加

c. ボランティアリーダー養成（8期）・継続研修

2. 石巻分室活動の充実

・石巻地域・県北地域の相談活動を支援すると共に相談員拡充の拠点としていく。併せて、石巻市に活動への理解と支援のための働きかけをする。

・公開講座の開催

3. 事業資金の確保

仙台いのちの電話センターは建築以来10年以上経過し、建物の経年劣化対策が必要な時期を迎えている。また、様々な設備も老朽化してきている。これらのための資金確保をするために、下記の内容の充実をはかる。

①財政の安定を図るため、後援会と協力し広く寄附金を募る。

②寄附金、会費の増大を図るため、税額控除・制度の広報に努める。

4. 自死遺族支援事業
自死によって遺された人たちのわかちあいを目的に「すみれの会」を実施し、自死防止と地域福祉の増進をはかる。
 - a. 「すみれの会」（わかちあいのつどい）毎月第1土曜・第3水曜開催
 - b. スタッフ研修随時開催、各種研修会に参加
 - c. 公開講演会

5. 自死予防事業（厚生労働省）への協力
 - a. 「自殺予防いのちの電話」毎月10日24時間受信（午前8時より翌朝8時）
 - b. 「福島寄り添いフリーダイヤル」2018/4・5月協力
 - c. 公開講演会の開催

6. 広報活動
広報紙（年2回）・事業案内の発行、ホームページの充実
ポスター・パンフレット・カードの活用、講師派遣

7. 後援会活動への協力
後援会会員の新規開拓、各種イベント活動（チャリティコンサート・いのでんマルシェ）等に協力

8. 他機関との連携
いのちの電話本来の活動と並行して、他の相談機関との連携をはかる。
 - a. 自死問題への対応を探り、ソーシャルサポート・システムとしての連携及び、地域ネットワークへの参加
 - b. 「仙台市ヤングテレホン」の業務受託（仙台市閉庁時間帯の転送電話の受信）
 - c. 「無料法律相談ところの健康相談会」仙台市業務受託（毎月1回）
 - d. 「24時間いじめ相談専用電話」の業務受託（仙台市閉庁時間）

9. 研修担当者の研修
研修担当者の研修会、各種研修会（全国研修担当者会等）への参加

2018（平成 30）年度予算

（単位：千円）

		勘定科目	30年度予算 (A)	29年度予算 (B)	増減額(A) - (B)
事業活動による収支	相談事業収入	【相談事業収入】	20,600	21,700	△ 1,100
		補助金事業収入	2,367	2,367	0
		委託事業収入	17,933	19,333	△ 1,400
		その他の事業収入	300	0	300
	経常経費寄付金収入	【経常経費寄付金収入】	13,716	11,493	2,223
		会費収入	7,000	5,777	1,223
		一般寄附収入	6,716	5,716	1,000
	受取利息配当金収入	【受取利息配当金収入】	2	2	0
		受取利息収入	2	2	0
	その他の収入	【その他の収入】	2,333	2,333	0
		その他の収入	0	0	0
		受入研修費収入	2,250	2,250	0
		雑収入	83	83	0
	経常収入計 (1)		36,651	35,528	1,123
人件費支出	【人件費支出】	12,023	11,862	161	
事務費支出	【事務費支出】	23,826	24,134	△ 308	
経常支出計 (2)		35,849	35,996	△ 147	
経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		802	△ 468	1,270	
施設設備等による収支	収入	施設設備収入計 (4)	0	0	0
	支出	【固定資産取得支出】	0	0	0
		施設設備等支出	1,325	0	1,325
		器具及び備品取得支出	0	0	0
		建物資産取得支出	0	0	0
	施設設備等支出計 (5)		1,325	0	1,325
施設設備資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 1,325	0	△ 1,325	
その他の活動による収支	収入	財務収入計 (7)	0	0	0
		積立預金取崩収入	0	0	0
	支出	【積立預金積立支出】	0	0	0
		基本積立預金積立支出	0	0	0
		減価償却積立預金支出	0	0	0
	財務支出計 (8)		0	0	0
	財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		0	0	0
予備費 (10)		181	0	181	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△ 704	△ 468	△ 236	

前期末支払資金残高 (12)	704	1,172	△ 468
当期末支払資金残高 (11) + (12)	0	704	△ 704

後 援 会

「仙台いのちの電話後援会」は社会福祉法人仙台いのちの電話の財政的基盤を支え、支援の輪を広げることを目的に組織されています。

寄附募金活動、後援会員の募集 財政的支援事業（コンサート等各種チャリティイベント）の実施のほか、書き損じはがき、未使用の切手の収集などを行っています。

2017年（平成29年）度後援会会員数

- 維持会員 団体 40 個人 140
- 賛助会員 団体 24 個人 97
- ◎総数 301（団体・個人）会員

活動を支えてくださった後援会員（法人への資金ボランティア）名簿 （敬称略 ○印は新会員 ☆印は2口以上の会員）

維持会員団体 ☆ 明るい社会づくり運動 医療法人社団静実会 ないとうクリニック (株)ウジエスーパー (株)エーブイテック 活牛寺 川内印刷(株) 光洋産業(株)	護 勢 寺	眞 福 寺	徳 泉 寺	(株)杜リゾート
	(株)缶気出版印刷	(株)清 建	東日本電信電話(株) 宮 城 支 店	(株)ユアテック
	(株)サトー商会	全 玖 院	松本事務機(株)	陽 雲 寺
	(株)サン・ベン ディング東北	(社福)仙 台 キリスト教育児院	学校法人宮城学院	瀧 澤 寺
	(株)七十七銀行	(株)仙 台 放 送	(一社)宮 城 県 精神科病院協会	瀧 澤 寺
	○充 国 寺	千 葉 神 経 科 内科クリニック	宮城県民共済生活 協 同 組 合	林 香 院 座 禅 会
	松 音 寺	東 北 電 力 (株)	みやぎ生活協同組合	輪 王 寺
	○松 源 寺	常 盤 洋 紙 (株)	明 川 寺	
	○正 楽 寺			

維持会員個人 相 沢 敦 子 相 沢 光 哉	愛 知 絢 子	安 藤 幹 郎	石 田 由 紀 子	茨 木 茂 子
	青 木 讓	安 部 仁	伊 豆 和 子	岩 松 としゑ
	浅 野 弘 毅	飯 岡 智	磯 部 敏 英	岩 本 幸 子
	阿 部 よし子	石 田 千 恵 子	井 上 茂	上 田 昌 孝

氏	家	幸	子	斎	藤	智	恵	更	科	玲	田	原	静	恵	三	浦	ひろ	子	
大	泉	鉄	之助	斎	藤	永	子	嶋	田	順	好	田	井	紀	子	三	澤	志郎	
大	友	一	・玲	齊	藤	啓	昭	清	水	英	子	玉	手	理	子	宮	内	昭穂	
大	沼	セツ	子	齋	藤	眞	眞	庄	子	邦	子	千	葉	雅	保	宮	腰	孝	
☆	大	山	照	江	齊	藤	義	庄	司	容	子	千	葉	美	知	宮	崎	てつ	
☆	大	山	正	博	酒	井	高	白	石	洋	子	☆	出	村	和	武	藤	伸	
☆	岡	本	つな	子	酒	井	貞	新	子	元	子	寺	島	順	子	村	上	瑞穂	
	小	野	寺	友	宏	坂	本	多	香	子	☆	菅	原	直	枝	富	田	最	
	海	鋒	明	子	☆	佐	々	木	龍	快	菅	原	慶	夫	富	田	八	木	
	片	倉	由	美	子	☆	笹	原	昌	鈴	木	俊	永	井	浩	之	☆	梁	
☆	金	子	英	次	佐	藤	秋	夫	鈴	木	ハツ	成	田	浩	盛	☆	山	川	
	川	嶋	伸	子	佐	藤	和	子	☆	鈴	木	ハツ	成	田	浩	盛	☆	山	
	河	本	悦	子	佐	藤	絹	枝	須	藤	き	い	川	二	郎	山	口	千鶴	
	菅	野	清	子	佐	藤	静	高	瀬	戸	ツ	ヤ	☆	秀	田	育	弘	☆	
	菅	野	孝	子	佐	藤	艶	子	高	森	順	義	伸	藤	岡	せ	つ	子	☆
	菅	野	多	利	佐	藤	富	男	高	柳	義	伸	藤	岡	彰	子	☆	吉	田
	菅	間	進	子	佐	藤	宏	竹	竹	田	英	子	藤	原	範	典	若	生	裕
	菊	地	伊	津	佐	藤	洋	弥	竹	田	啓	二	星	堀	米	正	子	渡	辺
	木	村	ひ	さ	佐	藤	文	子	竹	田	登	代	堀	米	田	十三	男	渡	部
	熊	谷	勝	子	佐	藤	牧	人	竹	田	登	代	堀	米	田	十三	男	渡	部
	熊	谷	ひろ	み	☆	佐	藤	正	田	苗	沙	也	増	井	久	夫	匿	名	4
	熊	倉	芳	子	☆	佐	藤	由	田	中	忠	三	増	井	久	夫	匿	名	4
	國	分	振	敏	☆	佐	藤	ヨシ	田	中	吟	子	増	井	久	夫	匿	名	4
	今	野	孝	敏	☆	佐	藤	絹	田	野	み	よ	松	本	幸	子			



賛助会員団体

(公財) アタラクシア
みやぎ霊園

(株) 岩井 紘子
建築設計事務所

(株) インターオープンカル

○ 桃 源 院

光 明 寺

国 分 尼 寺

(株) ジー・アイ・ピー

四季の料理梅田

シヤルトル
聖パウロ修道女会

秀 林 寺

昌 林 寺

(株) 白松がモナカ本舗

(株) 清月記

仙台ライオンズクラブ

竹 駒 神 社

UIゼンセン同盟
デンコードーユニオン

(株) 東陽写場

東日本興業(株)

文 理 学 院

(株) 北 振 技 研

(株) マルタマ

桃 生 佛 教 会

安 田 病 院

龍華院 大宮司

賛助会員個人

岡 貴恵子 ○	齋 藤 昭 子	新 宮 幸 子	原 敬 造
岡 部 ミナ子	齋 藤 悦 子	鈴 木 成 平	賀 ノ ブ
小 川 晶	佐々木 瑛 子	鈴 木 博 朗	○ 福 田 和 子
小野寺 なつ子	佐々木 宗	鈴 木 優 子	堀 江 直 子
○ 小野寺 波 瑠	佐々木 一	鈴 木 百 合 子	松 枝 敦 子
鹿 股 英 生	佐 藤 キク子	平 さき子	松 本 美 知 子
鎌 田 公 子	佐 藤 俊 一	○ 高 野 妙 子	三 浦 孝 一
川 嶋 伸 子	佐 藤 清 子	高 橋 京 子	三 塚 浩 一
菊 地 正 剛	佐 藤 寿 彦	高 橋 さちよ	○ 森 宏 寿
○ 木 村 市 子	佐 藤 ミ エ	○ 高 橋 陽 子	安 田 病 院
葛 岡 恵 美 子	佐 藤 頼 子	武 田 久 美 子	山 本 美 喜
来 栖 幹 子 ○	○ サノ カツトシ	田 中 清	湯 村 富 美 子
黒 沢 繁 ○	篠 原 瑞 枝	土 本 義 紘	横 山 義 正
後 藤 悦 子	清 水 恵 子	中 川 恵 子	吉 田 彌 生
小 林 蒼 生	庄 司 あや子	中 條 洋 子	吉 村 心 語
小 林 文 江	庄 子 さゆり	橋 本 榮 一	匿 名 6 名
近 藤 文 子	庄 子 泰 子 ○	○ 長 谷 と も 子	
近 藤 洋 子	庄 子 泰 子	畑 屋 武 志	
○ 今 野 ま さ 子	白 澤 幸 子	島 山 東 平	



クリスマス・
歳末募金団体

(公財)アタラクシア
みやぎ霊園
㈱岩井絃子
建築設計事務所
㈱エーブイテック
桃 源 院
㈱割烹くまがい
㈱ギアール・サービス
黒松婦人の会
国際ソロプチミスト宮城

㈱ジー・アイ・ビー
シャルトル
聖パウロ修道女会
充 国 寺
尚綱学院高等学校
尚綱学院大学
附属幼稚園
㈱白松がモナカ本舗
眞 福 寺
㈱清 月 記
聖トミニコ女子修道会
仙 台 修 道 院

仙台ライオンズクラブ
㈱仙 都 計 器
(学法)東北学院
徳 泉 寺
日本基督教団
宮城野愛泉教会
日本基督教団
仙台愛泉教会
日本基督教団
仙台青葉荘教会
日本基督教団
仙台五橋教会
日本キリスト教団
仙台川平教会

日本キリスト教団
仙台市民教会
日本基督教団
仙台松陵教会
日本基督教団
仙台東一番丁教会
日本基督教団
仙台広瀬河畔教会
日本キリスト教団仙台
広瀬河畔教会婦人会
日本基督教団
仙台北三番丁教会
文 理 学 院
米工房いわい
㈱88サービス

宮 城 学 院
キリスト教センター
みやぎ生活協同組合
明 川 寺
㈱杜リゾート
陽 雲 寺
龍華院 大宮司
瀧 澤 寺
林 香 院
輪 王 寺

クリスマス・
歳末募金個人

相沢光哉	小川英子	佐々木 一	鈴木 成	橋本 榮一
愛知 絢子	小野正芳	佐々木 龍快	鈴木 宏	長谷 とも子
浅野弘毅	小野寺なつ子	佐藤 鮎美	鈴木 百合子	畠山 東平
安達京子	小野寺友宏	佐藤 和子	須田 佐枝子	早坂 とし子
阿部 達	金子英次	佐藤 キク子	須藤 さい	堀江 直子
安齋えい子	兼為美佳子	佐藤 静	平 さき子	堀 米 正子
安部 仁	加美山 朋	佐藤 富男	高橋 悦子	増井 久夫
石田千恵子	菅野孝子	佐藤 豊子	高橋 京子	松本 幸子
伊豆和子	菊地正剛	佐藤 洋弥	高橋 さちよ	宮内 昭穂
泉川久美子	木村ひさ	佐藤 牧人	高橋 洋子	むかや林ユミ
板橋登美	栗村貞子	佐藤 ヨシ子	多田 昭子	目黒 功子
伊藤直子	小堺千枝子	サノ カツトシ	館 繁子	茂 泉 道子
海老名せい子	○小林和夫	繁野 正昭	田中 清	山口 千鶴
大田和子	小林蒼生	篠原 瑞枝	田中 ミキ子	山本 淳子
大友朝子	○今野隆三	清水 英子	田中 吟子	山本 美喜
大友健行・みつゑ	齋藤 昭子	清水 恵子	田野 みよ	山本 道子
大沼 隆	齋藤 かづ子	庄子 秋子	玉手 理子	横尾 ふみ子
大山照江	齋藤 智恵	庄司 あや子	千葉 美知代	吉田 一彦
岡部ミナ子	齋藤 眞	白石 洋子	出村 和子	吉田 淳子
岡本 つな子	酒井高男	白澤 幸子	照井 床子	吉村 心語
	坂本陽一	白川充・由利枝	百々 格・直子	匿名 6名
	佐々木 宗	新子元子	永井 恵	
		鈴木 俊寿	中 沢 きく子	

一般寄附をくださった団体

オール宮城 LC ゴルフ同好会	200,000 円	
河北新報社	12,835 円	上期寄託金 (厚栄社)
河北新報社	26,700 円	下期寄託金 (七郷市民まつり)
COOP トリプルカード宮城スマイル基金	300,000 円	
社団法人 仙台仏教会	54,394 円	花祭り、仏教会バザー
社団法人 仙台仏教会	50,000 円	
一般社団法人生命保険協会	300,000 円	
(株)トキコプランニング	150,998 円	加藤登紀子コンサート会場募金とチケット売上げ
広瀬川倶楽部	189,000 円	
宮内歯科医院	56,652 円	イベント収益金
林香院	44,523 円	弁財天

わたしの雑貨 & セラピーらべんだあ	16,230 円	野菜売上げ
仙台いのちの電話後援会チャリティイベント	1,554,828 円	収益金
仙台いのちの電話後援会いのでんマルシェ	492,768 円	収益金
仙台いのちの電後援会いのでんマルシェ募金箱	6,554 円	
仙台いのちの電話公開講演会会場募金	2,900 円	末盛千枝子、若林一美
センター内チャリティ募金 CAN	20,164 円	
センター内チャリティ	16,000 円	クッキー売り上げ

一般寄附をくださった個人

有田モト子	50,000 円	匿名	150,000 円
岡本喜子	15,000 円	匿名	100,000 円
佐藤和子	15,000 円	匿名	100,000 円
関口秀和	100,000 円	匿名	20,000 円
田中聡子	10,000 円	匿名	2,000 円

チャリティ自販機設置ご協力くださっている団体

かまどや大衡店	1,934 円
(株) TGサポート	103,084 円
(学法) 宮城学院女子大学	15,834 円

募金 CAN ご協力

○個人 大泉鉄之助 佐藤洋弥 佐藤頼子

チャリティコンサート協力団体

アイリスプラザ (株) 青葉ガーデン 一乃庵 (株) 菓匠三全 (有) ギアール・サービス
米工房いらい (株) 清月記 (株) 正大みぶな 仙台画像検診クリニック (株) セント
天照寺護勢寺 (社) 東北学院大学 ファミリー (株) 深野プロ ホシヤマ珈琲店
やながわ歯科 ライオン(株)

✿その他多くの団体・個人の皆さまからご協力をいただきました。ありがとうございました。

いのでんマルシェ協力団体

アイリスオーヤマ(株) 青葉ガーデン 一乃庵 (株)ウジエスーパー 鹿島台・田尻いのでんマルシェ協力会 米工房いわい 買取のげんちゃん (合資) 亀兵商店 斉藤コロタイプ印刷(株) サンモール一番町商店街振興組合 (株)清月記 (有)ゼル 仙台キリンビバレッジサービス(株) (株)仙台三越 たかはしきもの工房 (株)タゼン (有)東北いちば 東北観葉(株) 常盤洋紙(株) (株)ドリームエンジェル ニコニコのり(株) 仙台店 (株)平孝酒造 (株)藤崎 武州養蜂園 マルホン(株) 三島食品(株) 仙台営業所 三菱鉛筆東北販売(株) (株)八木園 六甲バター(株) 東北営業所 わたしの雑貨&セラピーらべんだあ

※多くの方からご提供、ご協力をいただきました。個人名は省略させていただきます。
ありがとうございました。

イオン幸せの黄色いレシート

富谷イオンで今年も行われたキャンペーンで、1,115,843 円の黄色いレシートの投函があり、11,100 円のギフトカードをいただきました。これで仮眠室の寝具を購入することができました。ありがとうございました。

書き損じハガキ・その他

- ✿書き損じハガキ、切手、センター内で使うお茶、コーヒー、などをお寄せいただきました。
- ✿たくさんの鉛筆のご寄附を三菱鉛筆東北販売(株) からいただきました。
ありがとうございました。

正確を期したつもりですが、万一記載もれ、誤字脱字がありましたら、ご面倒ですが事務局までご連絡ください。

長い間 仙台いのちの電話にご協力をいただいております下記の後援会
会員が逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに深くお礼申し上げます。

佐藤 キク子 様	佐藤 輝子 様
佐藤 尚義 様	須田 貞子 様
星 曠夫 様	平泉 整 様

仙台いのちの電話後援会主催事業

《2018年度後援会事業の案内》

2018年7月11日(水) 仙台迎賓館 斎苑 15:00 開演

仙台いのちの電話チャリティ

尾木ママ講演会「いじめ問題をどう克服するか～具体的実践を通して～」



教育評論家。主宰する臨床教育研究所「虹」所長。

多数の情報・バラエティ・教養番組にも出演し「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りにまで親しまれている尾木さんの本領発揮ともいえる今回の講演会。

講演会の前にはアフタヌーンティのご用意も。300名定員。

全席5,000円(アフタヌーンティ付き)

2018年11月16日(金) 電力ホール 18:30 開演

オペラユニット“LEGEND”(レジェンド)



男性オペラ歌手5人による日本初のオペラユニット“LEGEND”(レジェンド)。

男性オペラ歌手ならではのダイナミックな歌声と繊細なアンサンブルで、クラシック・オペラのみならず様々なジャンルの楽曲で、常にコーラスの新たな表現を追求し、日本全国の多くのファンを魅了し続けています。皆様お誘い合わせの上、

どうぞお越しください。

全席指定 S席6,000円。A席5,000円。

《2017年度後援会事業報告》

ご協力ありがとうございました。

仙台いのちの電話チャリティ

内館牧子講演会「自分らしい生き方」

2017年10月27日(金) 仙台迎賓館斎苑にて、“いのでんsalon”初企画。確かな知識に裏付けされた密度の高い講演会を聞いた後は、自由にテーブルについてのお食事。“いのでんsalon”ならではの楽しい時間でした。法人には454,828円を寄附しました。

高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト

2018年2月12日(月・祝) 電力ホールにて「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」を開催しました。チケットは早々に完売。2,327,218円を(社福)仙台いのちの電話に寄附しました。

いのでんマルシェ

2017年10月7日(土)、藤崎サンモール一番町側にて、「いのでんマルシェ」を開催しました。30の企業・団体、個人から提供いただいた生活用品や食品などを販売し、収益金492,818円を(社福)仙台いのちの電話に寄附しました。

社会福祉法人 仙台いのちの電話
役員・委員名簿

(2018.4.1 現在)

理事会

理事長	飯岡 智				
常務理事	千葉 健				
理事	大山 照江	嶋田 順好	佐藤 牧人	菅原 裕典	
	出村 和子	山家 雪雄	相談員の会会長		
監事	今野 隆三	高橋雄一郎			

評議員会

阿部 重樹	阿部 洋一	遠藤 和子	菊地伊津子
國分 振	齋藤 昭子	齋藤 眞	坂上 満
佐藤 寿彦	白川 充	菅原 公宇	鈴木 宏
千葉 雅保	平賀 ノブ	本田登代子	
松本 幸子	山口 哲男	相談員の会副会長 2名	

運営委員会

飯岡 智 (理事長)	千葉 健 (常務理事)
齋藤 眞 (研修委員長)	國分 振 (研修副委員長)
佐藤 和子 (研修副委員長)	坂本 陽一 (事務局長)
相談員の会から2名 (会長・副委員長)	

研修委員会

齋藤 眞 (委員長)	國分 振 (副委員長)
佐藤 和子 (副委員長)	松本 幸子 坂本 陽一
ボランティアリーダー会・研修企画会・調査研究会から5名	

専門委員会

齋藤 眞 (代表)	國分 振 (副代表)	松本 幸子 (書記)
秋葉 良子	大和田誠子	金井 嘉宏 菊池 武剋
佐藤 静	佐藤 智昭	佐藤 文子 新宮 幸子
出村 和子	長友 周悟	松浦 光和 水田 恵三
宮腰 孝	三好 敏之	梁川 優子

事務局

坂本 陽一 (事務局長)	永井 恵 (主事)
増井みどり	山崎 晴美 齋藤 智恵 千葉 恵子

後援会役員名簿

(2018.4.1 現在)

後援会役員

会長	大山 照江		
副会長	菅原 裕典	坂上 満	
幹事	菅原 公宇	田中 玲子	深野せつ子
	若生 裕俊	佐藤 和子	
監事	齋藤 昭子	今野まさ子	
参与	飯岡 智	出村 和子	

社会福祉法人仙台いのちの電話 組織



☆仙台いのちの電話 相談電話 **022-718-4343**

(24時間・年中無休)

☆自殺予防いのちの電話 **0120-783-556**

(毎月10日8:00~翌8:00)

☆いのちの電話インターネット相談

いのちの電話 ネット相談

検索

仙台いのちの電話では…☎

誰にも相談することができず、不安や孤独の中で「生きる力」を失い、時には自死に追いこまれる人もいます。「いのちの電話」はそのような人の苦しみを受けとめ、みずからの力で生きていけるよう願いつつ、自殺予防を第一の目的として、多くの電話を受けています。

このボランティア活動は1953年イギリスに生まれ、日本では1971年に初めて東京に設立されました。「仙台いのちの電話」は、1982年国内15番目のセンターとして開局し、本年36年目となりました。

所定の研修を経て認定されたボランティア相談員が、相談を受けています。2009年からはインターネットによる相談を開始し、2013年には石巻分室も開局しました。

こうした活動運営費（年間約3千万円）のほとんどは市民の方々のご寄附によるものです。

仙台いのちの電話相談員募集

仙台いのちの電話では、毎年30名の相談員養成講座受講生を募集しています。

2018年度は、4月7日（土）45期生の開講式が行われ、10名の受講生で研修がスタートしました。

第46期相談員養成講座受講生募集は12月から行います。1年4か月の充実した研修コースで学び、認定後は「仙台いのちの電話相談員」として活動していただきます。

詳しくは事務局（022-718-4401）にお問い合わせください。

自死遺族支援「すみれの会」

自死で、ご家族や大切な人を亡くした方が、安心して参加できる語らいの場です。

日 時：毎月第一土曜日・第三水曜日 13:00～15:00

会 場：仙台市民活動サポートセンター

参加費：300円



わかちあいのつどいは、出会いの場でもあります。
季節のお花を飾ってお待ちしています。

すみれの会に関するお問い合わせは

仙台いのちの電話事務局 022-718-4401



活動スナップ



45期開講式



一泊研修会



一日研修会

ご協力をお願い

いのちの電話は多くの方々の温かい心に支えられています。ひとりの力は小さくてもたくさんの力が集まれば大きな力になります。いくつかの方法があります。ご協力をお願い申し上げます。

☆ご協力方法

- ① 資金ボランティア
○維持会員（個人） 年間1口 1万円（団体） 年間1口 3万円
○賛助会員（個人・団体） 金額、時期は自由
- ② 仙台いのちの電話支援募金箱設置。（募金カンの用意がございます）
- ③ 後援会主催のチャリティイベントへの参加。（チケット購入等）
- ④ 書き損じハガキ、未使用の切手等の提供。

振込先

（郵便振替）02210-5-2449 社会福祉法人 仙台いのちの電話
（銀行振込）七十七銀行旭ヶ丘支店
普 5260051 社会福祉法人 仙台いのちの電話
理事長 飯岡 智

寄附金控除のご案内

当法人へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

〈個人によるご寄附の場合〉

仙台いのちの電話はこれまでの所得控除制度に加え、**2012年から新たな税額控除制度の対象法人として認定されました。**新たな税額控除制度は所得金額によらず寄付金額から2千円を控除した一定割合（40%）の節税効果があります。尚、今まで通りの所得控除方法も選択できます。

※確定申告書の〈税金の計算〉の政党等寄附金等特別控除の覧に記入。

〈法人によるご寄附の場合〉

当法人への寄附金は、損金算入限度額の範囲内で損金算入をすることができます。

〈相続財産のご寄附の場合〉

相続または遺贈により財産を取得した方が取得した財産を相続税の申告期限内に当法人に対してご寄付された場合には控除の対象となります。

☞詳しくはお近くの税務署までお問い合わせください。

○「個人住民税における寄附金税額控除」制度について

仙台いのちの電話に対する寄附金は「個人住民税における寄附金税額控除」の対象に指定（宮城県・仙台市等）されています。***控除額は県民税4%・市県民税6%、詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。**

仙台いのちの電話資金ボランティア申込書

年 月 日

趣旨に賛同し、下記の○印の会員として申し込みます

1. 維持会員（個人） 円
2. 維持会員（団体） 円
3. 賛助会員（金額は自由）

<個人の場合>

ご氏名 _____
〒

ご住所 _____

お電話 _____

<団体の場合>

団体・代表者名 _____
〒

ご住所 _____

お電話 _____

※FAX 022(718)4431 または、郵送でお送りください。問い合わせは事務局 022(718)4401 まで。



仙台いのちの電話 相談電話 (24 時間・年中無休)

022-718-4343

社会福祉法人
仙台いのちの電話事務局

インターネット相談 <https://www.inochinodenwa.org/>
☎981-8691 仙台北郵便局私書箱 26 号
TEL : 022-718-4401 FAX : 022-718-4431
<http://sendai-inochi.jp.n.org/>

日本いのちの電話連盟加盟センター相談電話 ☆は 24 時間受信センター

☆ 旭川いのちの電話	0166-23-4343	静岡いのちの電話	054-272-4343
☆ 北海道いのちの電話	011-231-4343	浜松いのちの電話	053-473-6222
あおもりいのちの電話	0172-33-7830	岐阜いのちの電話	058-277-4343
〃 青森分室	〃	☆ 名古屋いのちの電話	052-931-4343
秋田いのちの電話	018-865-4343	三重いのちの電話	059-221-2525
盛岡いのちの電話	019-654-7575	滋賀いのちの電話	077-553-7387
☆ 仙台いのちの電話	022-718-4343	☆ 京都いのちの電話	075-864-4343
〃 石巻分室	〃	☆ 奈良いのちの電話	0742-35-1000
山形いのちの電話	023-645-4343	〃 橿原分室	〃
〃 庄内分室	〃	☆ 関西いのちの電話	06-6309-1121
福島いのちの電話	024-536-4343	神戸いのちの電話	078-371-4343
〃 郡山分室	〃	〃 分室	〃
☆ 新潟いのちの電話	025-288-4343	はりまいのちの電話	079-222-4343
長野いのちの電話	026-223-4343	和歌山いのちの電話	073-424-5000
〃 松本分室	0263-29-1414	鳥取いのちの電話	0857-21-4343
群馬いのちの電話	027-221-0783	島根いのちの電話	0852-26-7575
☆ 栃木いのちの電話	028-643-7830	〃 石見分室	〃
足利いのちの電話	0284-44-0783	山口いのちの電話	0836-22-4343
☆ 茨城いのちの電話	029-855-1000	☆ 岡山いのちの電話	086-245-4343
〃 水戸分室	029-350-1000	☆ 広島いのちの電話	082-221-4343
☆ 埼玉いのちの電話	048-645-4343	☆ 香川いのちの電話	087-833-7830
〃 川越分室	〃	愛媛いのちの電話	089-958-1111
☆ 千葉いのちの電話	043-227-3900	高知いのちの電話	088-824-6300
☆ 東京いのちの電話	03-3264-4343	☆ 北九州いのちの電話	093-671-4343
東京多摩いのちの電話	042-327-4343	☆ 福岡いのちの電話	092-741-4343
東京英語いのちの電話	03-5774-0992	☆ 佐賀いのちの電話	0952-34-4343
☆ 川崎いのちの電話	044-733-4343	長崎いのちの電話	095-842-4343
☆ 横浜いのちの電話	045-335-4343	☆ 熊本いのちの電話	096-353-4343
〃 SPANISH	045-336-2477	☆ 大分いのちの電話	097-536-4343
〃 〃	0120-66-2477	☆ 鹿児島いのちの電話	099-250-7000
〃 PORTUGUESE	045-336-2488	沖縄いのちの電話	098-888-4343
〃 〃	0120-66-2488		
山梨いのちの電話	055-221-4343		

自殺予防いのちの電話 0120-783-556 毎月 10 日 (8 : 00 ~ 翌日 8 : 00)